

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2000-507892

(P2000-507892A)

(43) 公表日 平成12年6月27日 (2000.6.27)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マコード* (参考)

B 2 9 B 15/04

B 2 9 B 15/04

7/30

7/30

C 0 8 C 1/14

C 0 8 C 1/14

C 0 8 J 3/20

C E Q

C 0 8 J 3/20

C E Q A

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 21/00

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全174頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平9-535526
(86) (22) 出願日 平成9年3月25日 (1997.3.25)
(85) 翻訳文提出日 平成10年10月1日 (1998.10.1)
(86) 国際出願番号 P C T / U S 9 7 / 0 5 2 7 6
(87) 国際公開番号 W O 9 7 / 3 6 7 2 4
(87) 国際公開日 平成9年10月9日 (1997.10.9)
(31) 優先権主張番号 0 8 / 6 2 5 , 1 6 3
(32) 優先日 平成8年4月1日 (1996.4.1)
(33) 優先権主張国 米国 (U S)
(31) 優先権主張番号 6 0 / 0 2 0 , 4 7 9
(32) 優先日 平成8年6月13日 (1996.6.13)
(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 キャボット コーポレイション
アメリカ合衆国, マサチューセッツ
02109-1806, ボストン, ステイト スト
リート 75
(72) 発明者 チュン, ピン
アメリカ合衆国, ニューハンプシャー
03063, ナシュア, ディアコン ドライブ
12
(72) 発明者 マブリー, メリンダ エイ.
アメリカ合衆国, マサチューセッツ
02167, ニュートン, アルゴキン ロード
65
(74) 代理人 弁理士 石田 敬 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 新規なエラストマー複合体、その製法および装置

(57) 【要約】

混合ゾーンから凝固ゴムゾーンを通して反応装置の排出端部まで半拘束流の形の混合物を連続的に形成するべく凝固ゴム反応装置の混合ゾーンに微粒子を充てん材とエラストマーラテックスの流体流が供給される、新しい連続流方法及び装置により、エラストマー複合体が製造される。該微粒子充てん材流体は、排出端部に至る前に微粒子充てん材でエラストマーを実質的に完全に凝固するべく充分活発にエラストマーラテックス流体を巻込むためジェットストリームを形成するような形で、混合ゾーンに対し高圧下で供給される。酸又は塩溶液などに対する露呈が関与する凝固段階を必要とせず、効率の高い有効なエラストマー凝固が達成される。新規なエラストマー複合体が製造される。かかる新規なエラストマー複合体は、硬化させても又はさせなくてもよく、充てん材の選択、エラストマー、充てん材投入レベル及びマクロ分散といったこれまで達成されたことのない材料特性を組合わせるものである。

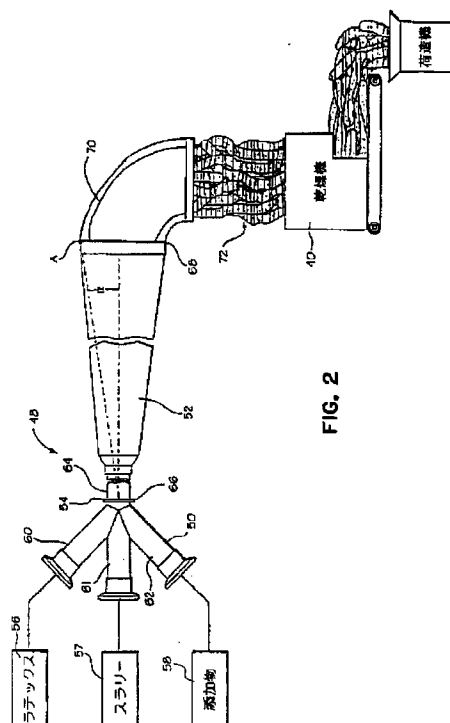


FIG. 31

